

学校設置場所の選定にかかる附帯意見について

【検討委員会における建設地選定にあたっての附帯意見】

建設地選定の関連事項として次の意見を附帯する。

(1) 通学支援のあり方について

通学支援については、学区が拡大することにより遠距離を徒歩で通学する児童が増加する。特に、小学校低学年の児童が長い距離を歩くことをたいへん不安に感じている。現行の4 km以上の距離を通学支援の対象とする基準を緩和するよう強く求める。また、通学支援の実施にあたっては、防犯の観点や子どもたちの個々の事情にあわせた柔軟な対応をお願いしたい。

(2) 通学路の安全確保について

通学路の安全確保について対策を講じること。

(3) 開校時期について

市内で最も古い原野谷中学校校舎の早期の改築と、掛川市で初となる小中一体型の学校施設での一貫教育が一日も早くスタートできるように、原野谷学園の小中一貫校については出来る限り早い時期に開校できるように努めること。

【附帯意見に対する市の方針】

(1) 通学支援のあり方について

本市では、通学距離が、小学生4 km以上、中学生6 km以上となる場合を通学支援の対象としている。今後、学校再編や統合により学区が拡大することで、長距離を徒歩で通学する児童が大幅に増加することが見込まれることから、児童の安全確保や、負担の軽減に向けた基準の見直しについて検討を行う。

(2) 通学路の安全確保について

通う学校が変わることによって、新たな通学路で通うことになる児童が出てくることから、新通学路の選定にあたっては安全性を十分に確認するとともに、必要に応じて道路管理者に改修工事等の実施を求めていく。

(3) 開校時期について

小中一貫校の開校時期については、早期の開校を望む地域の声にこたえ、速やかに事業を進めていく。掛川市学校再編計画に位置付けた令和11年の開校を1年前倒しした令和10年の開校を目指す。